

ロンドン大会におけるサステナブル調達

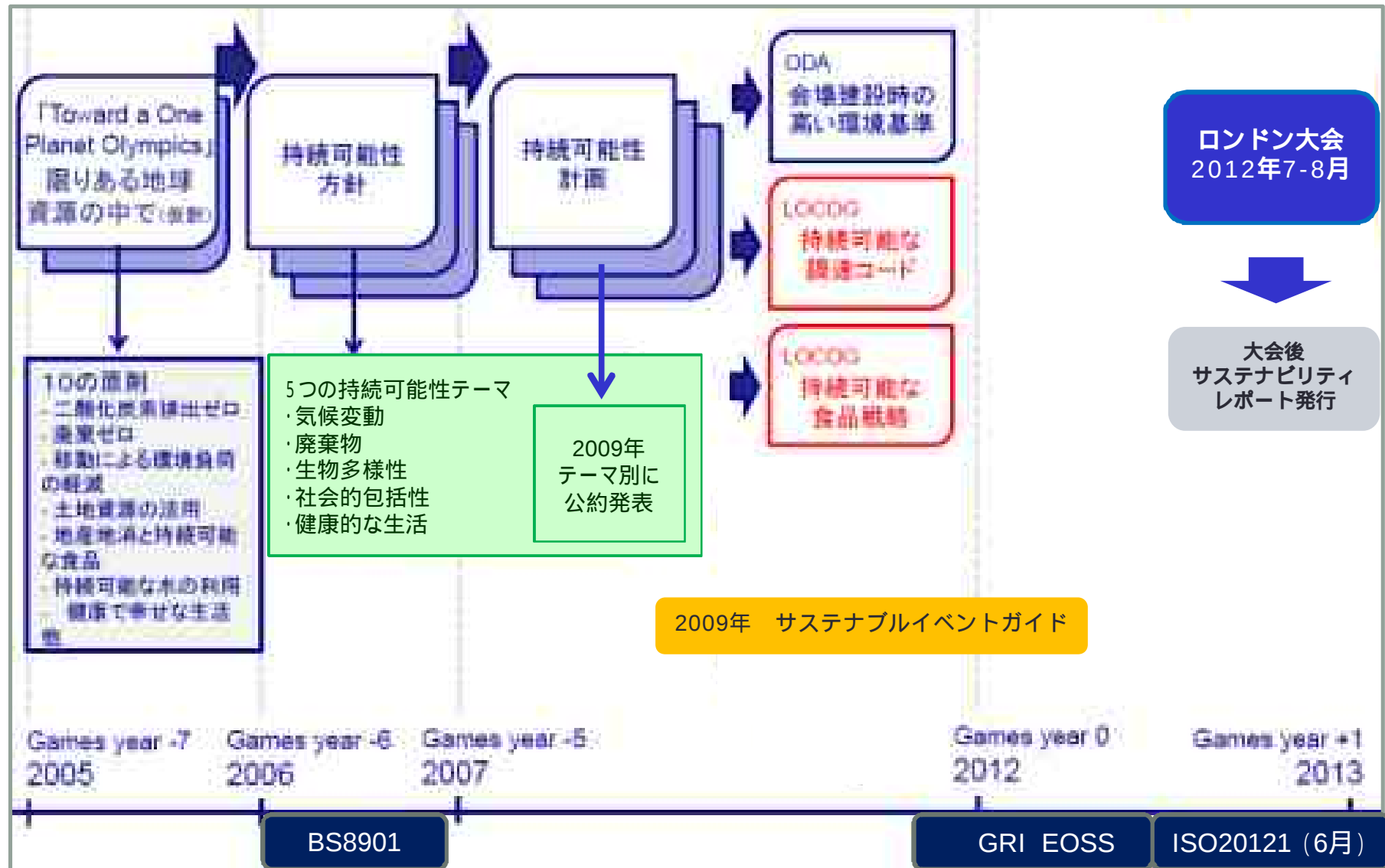
ロンドン・オリンピック・パラリンピックの関係組織と役割



新設会場についてはODAが、仮設会場についてはLOCOGが担当

資料 : Caux Round Table Japan

ロンドン2012サステナビリティの取組の流れ



大会の持続可能性レポートライン

ロンドン2012サステナビリティプランの策定

サステナビリティプランの主要テーマと公約

初版2009年12月発行、第二版2012年12月発行

気候変動

- ・ 2013年までにオリンピックパークの施設からの二酸化炭素排出量を50%削減する。
- ・ 大会後にオリンピックパークで使用されるエネルギーの20%を、公園内の再生可能エネルギー源でまかなう。
- ・ 大会期間中は低排出ガス車両を使用する。

廃棄物

- ・ 解体廃棄物の90%を回収し再利用・リサイクルする。
- ・ 建設資材の20%に再利用・リサイクル資材を取り入れる。
- ・ 建設資材の90%を埋め立て処分以外の方法で処分する。
- ・ 大会開催中に発生する廃棄物の70%を再利用・リサイクル、あるいは堆肥化する。

生物多様性

- ・ ロンドン東部ロウアー・リー・バリー地区に水生動植物と陸生動植物のための生息環境を新たに生み出し、既存環境を改善する。
- ・ 河川流域に沿って、野生動植物の生息地につながる回廊を建設する。

社会的包括性

- ・ 建設作業員の10～15%をオリンピック会場にある5つの特別区の住民から雇用する。
- ・ 20カ国1200万人の子供たちにロンドン五輪大会に関連した教育プログラムを提供する。

健康的な生活

- ・ オリンピックパークやその他の会場の建設期間中は死亡事故ゼロを目標に掲げる。
- ・ 不法投棄や汚水、公共交通アクセスがないために荒廃していた245ヘクタールのオリンピック用地を整備する。
- ・ 英国内で生産される手頃な価格の食品や飲料の多様性と質をアピールし、英国国民のために持続可能なレガシーを残す。

持続可能な調達に係る各種ガイドライン等

Title	ガイドライン名
London 2012 Sustainability Guidelines for Corporate and Public Events	ロンドン2012サステナブルイベントガイドライン
Sustainable Sourcing Code	持続可能な調達規定
Guidelines on Carbon Emissions of Products and Services	製品・サービスのCO ₂ 排出削減ガイドライン
LOCOG Packaging Guidelines	ロンドン2012包装材ガイドライン
London 2012 Food Vision	ロンドン2012フードビジョン
LOCOG Temporary Materials Guidelines	仮設資材ガイドライン
・Sourcing Sustainable Materials	・持続可能な原料調達
London 2012 Policy and Use of PVC	ロンドン2012PVCの使用に係るガイドライン
London 2012 Policy and Use of HFCs	ロンドン2012HFCの使用に係るガイドライン

ロンドン2012サステナブルイベントガイドラインの概要

(1) ガイドラインの利用者

- ・主として内部のイベント主催者及び請負業者、イベント運営関係者（施設管理者、サプライヤー、契約者、コマーシャルパートナー、メディア）

(2) ガイドラインの対象範囲

- ・会議・セミナー、ワークショップ、ロードショー、文化イベント、プロモーション、公開日
- ・テストイベントやトーチリレー、開会式・閉会式はLOCOG（組織委員会）による完全なサステナブルマネジメントシステムを計画

(3) 重要な10のテーマ

- ・主として想定される影響と問題の特定に焦点を当て、オリンピックの準備段階で次の10のテーマを最も重要なものとして位置づけ

競技会場と宿泊施設の選定
競技会場および周辺地域への影響
交通と移動
製品・サービスの調達
衛生、安全、防犯
エネルギー消費
飲食物の提供
ごみと清掃
情報伝達
配布物

ロンドンサステナブルイベントガイドライン

重要な10のテーマの概要（1/3）

競技会場と宿泊施設の選定

- 障がい者、高齢者など多様な人々への配慮
- 公共交通機関、自転車や徒歩での利便性
- 持続可能性（リサイクル設備、効率的照明など）
- 分かりやすい案内板

競技会場および周辺地域への影響

- 地権者、地域住民、公共機関との協力関係
- 生態系、景観、重要建築物の保護
- 倉庫、輸送ルート of 場所、騒音管理
- 有害物質の排出抑制

交通と移動

- 公共交通機関、自転車、徒歩の優先度を高める
- 移動時に使うルートを強調して表示する
- 共用の乗り物の利用、低公害車の利用
- 適切な乗り物へアクセスしやすくする
- 移動距離や移動回数を減らす

製品・サービスの調達

- 製品やサービスの購入の必要性を考慮し削減を検討
- 調達する場合には、レンタルの活用、過去のイベントで使用したものの利用を検討。詳細を持続可能な調達規定に記載

重要な10のテーマの概要（2/3）

衛生、安全、防犯

- 危険な事態の回避に向けた管理
- 請負業者は法的根拠に基づいたリスク評価と達成手段の提出
- 請負業者は損害賠償保険に加入
- 子供の安全面の担保

エネルギー消費

- 特に照明やAV機器、IT機器、空調機器、放送等エネルギーを多く使用するものについて、事前に計画を立案し需要を抑制
 - ・ 低炭素燃料又は再生可能エネルギーの使用
 - ・ エネルギー効率の高い機器、設備の使用
 - ・ 設備、機器、照明の不使用时には確実にスイッチを切ること

飲食物の提供

- 食品の衛生と安全性
- 水道水の無料提供
- 食の多様性、倫理、文化への対応
- 地域産又は旬の食材
- 環境的に責任のある、公正に取引された原料からの調達
- 再使用又はリサイクル可能な食器類、食品包装
- 食品への適正なラベリング

重要な10のテーマの概要（3/3）

ごみと清掃

- 使用する物質を定めて管理するなど、綿密な計画による排出量の削減
- 清掃することによって健康や安全、環境への影響を減らすことが可能（化学物質の削減、代替等）

情報提供

- 電子メールやニュースメディアでの情報伝達の優先度を高める
- プレゼン資料の文字を大きくする/分かりやすい言葉を使う
- 両面印刷、黒インクを使用し、大事な部分だけカラーを使う/植物性インクの使用

配布物

- 量と素材などを定めることで、環境に優しいよう配慮した
- 電子メールやWEBサイトにより配布すること一般的で、配布資料の必要性を考慮
- プレゼントの必要性の考慮。望まれていなければ、ゴミとなる。
- プレゼントを配布する場合は、
 - ・ 有用で再利用可能なもの
 - ・ 価値ある土産物
 - ・ リサイクル、リユース可能なもので作られている
 - ・ 次のイベントで使えるよう、日付を入れることを避ける

「持続可能な調達規定」の策定

LOCOG's Sustainable Sourcing Code

【目的・適用範囲】

環境的、社会的、倫理的な問題を念頭に製品・サービスの調達を行うために策定。全てのバイヤー及び仕様書作成者、供給者及び契約予定者に適用される。

【評価項目】

責任ある調達、再生材の使用、環境影響の最小化、有害物質の削減の4つの重要な問題について、製品・サービスを評価するため下記5項目を考慮し評価項目を規定。

1. 製品等の由来：地域産である。地域産でないものは輸送手段等を確認する
2. 製造者：労働慣行の遵守
3. 原料：再生材または再生可能な材料
4. 包装材：PVC等の不使用、木材・木材製品（FSC認証材等）、ポストコンシューマー75%以上の再生紙
5. 今後のイベントで活用できるか、できない場合はどのように廃棄するか

「持続可能な調達規定」の概要

1. 責任ある調達

- 木材・木材製品は合法性、持続可能性の担保（FSC認証製品）
- 出版・印刷物は、紙の最小化、電子化、環境マネジメントシステム等認証事業者による印刷、紙は無漂白、塗工紙はポストコンシューマー75%以上、非塗工紙はポストコンシューマー100%
- 持続可能性に係る認証製品として、フェアトレードラベル、オーガニック認定、レインフォレスト等

2. 再生材の利用

- 製品、包装材は可能な限り高配合、含有率に係る情報開示
- 全ての製品及び包装材は可能な限りリユース、リサイクル、熱回収＊「包装材ガイドライン」 1を別途規定
- コンポスト可能な製品及び包装材は、リユース、リサイクルができない場合にのみ使用
- 剰余、不適合包装材の引き取り

3. 環境影響の最小化

- 大会中のCO₂削減、直接、間接的GHGの削減＊「製品のCO₂削減ガイドライン」 2を別途規定
- 仮設資材ガイドラインに基づく仮設資材の調達＊「持続可能な原料調達」 4を別途規定
- EUエネルギーラベルのクラスA、A+、A++、エネルギースタープログラム認証製品
- 冷凍・冷蔵機器は、GWP150未満の冷媒、有害物質の削減
- 乗用車はEuro5、貨物・軽貨物車はEuro5又はEEV、トラックはEuro 又はEEVを推奨
- 食品は「London2012フードビジョン」 3に適合

4. 有害物質の削減

- REACH規制への対応
- 重金属、臭素系難燃剤
- RoHS対応、包装材の重金属の含有率合計100ppm未満

1 ロンドン2012 包装材ガイドラインの概要

包装材の対象

- 一次パッケージ：製品に直接ついている包装材
- 二次パッケージ：小売・販売時の包装単位で製品を束ねているもの
- 三次パッケージ：輸送時の包装（ダンボール、パレット、かごなど）

包装デザイン

- ・ リデュース
 - 不要部分の除去、取扱方法の変更、サイズ、厚みの軽量化
- ・ リユース
 - リフィル、パレット（洗浄・修繕で再利用）
- ・ リサイクル
 - リユースされた場合でも環境への影響が少ないもの
 - コンポスト可能
- ・ エネルギー回収、ガス化
- ・ 廃棄時のエネルギー効率化、未処理分の最小化

材料の選択

- ・ 必要最低限の包装
- ・ リユース可能な包装材
- ・ 幅広くリサイクル可能な包装材
- ・ コンポスト可能な包装材
- ・ 分解可能な包装材
- ・ 再生材（5%以上または業界平均値）の利用
- ・ 規制物質（EPS、PC、PVCなど）の不使用

その他の要件

- ・ 紙類
 - 無塩素漂白
 - 塗工紙：ポストコンシューマー75%以上
 - 非塗工紙：ポストコンシューマー100%
 - バージン材はFSC認証紙
 - ラミネート、ニス、ワックスの不使用
- ・ 窓空き包装の不使用
- ・ 軽量ガラス、再生ガラスの使用
- ・ 金属、ホイルは軽量化、多用途へ再利用可能
- ・ フィルム類は最小限の使用
- ・ 袋類
 - 使い捨てのプラ袋の不使用
 - 生分解バイオプラ袋の不使用
 - 再生材含有率80%以上のLDPE製袋は使用可能
 - 大量のケータリングには紙袋を使用可能



←アイコンでリサイクルを促進

資料: LOCOG Packaging Guidelines

2 製品・サービスのCO₂削減ガイドラインの対象品目

	製品・サービス		製品・サービス
1	会議設備	15	商品(販売品)
2	行政サービス	16	オフィス装備品、供給・サービス
3	出張サービス	17	プレミアム
4	クリーニングサービス（ランドリークリーニング、害虫駆除含む）	18	印刷サービス
5	衣服、布製品	19	専門サービス
6	家電製品	20	廃棄物処理
7	編集サービス	21	レストラン・ケータリング
8	イベント運営サービス	22	防犯・安全装置と供給
9	花、造林製品	23	標識と付属品
10	家具、建具	24	スポーツ備品の供給・サービス
11	IT、放送及び電気通信	25	仮設建築物、装備品
12	輸送	26	光熱水道（仮設発電機含む）
13	郵便・国際宅配便（貨物運送含む）	27	乗り物（輸送サービス含む）
14	医学・実験サービスと設備	28	会場施設サービス（小売、運営、メンテナンス）

3 ロンドン2012 フードビジョンのテーマと公約

テーマ	公約
食の安全と衛生	● 全試合会場で食の安全と衛生基準を確認 ● トレーサビリティを適用する ● 悪意的な異物混入の危険がないよう管理する
選択とバランス	● 多様なゲストのために、多様な飲食を提供する。文化的な食の制限、価格帯、入手しやすさを担保する ● 全試合会場で、無料で水が飲める ● 健康的で栄養価の高い食を提供する ● 自販機を効果的に活用する
食の調達元とサプライチェーン	● 開催期間中、安全な食が配送できるようサポートする ● 飲食物は高基準で環境に配慮したもの、動物愛護の基準に則していることを確認する ● 小規模、地方企業など多数のサプライチェーンをサポートする
環境マネジメント	● 機器で最適化をはかる ● 機器でエネルギーや水の効率を最大化する ● 廃棄場の利用をゼロにする ● ゴミの70%をリユース、リサイクルする ● CO₂排出量を最小限にとどめる
技術と教育	● 全スタッフが研修を受講 ● 学生のケーススタディに活かす ● 主要スタッフはホスピタリティ研修を受ける ● 調達組織と大学の協力関係を促す ● 大会は前例のない多様なホスピタリティを見る貴重な機会である ● 信用度の高いフレームワークの作成に活用する

4 持続可能な資材（主に仮設用資材）

分類	制限される資材	代替製品
木質製品	FSC非認証木材	エコシート（廃プラ100%の合板代替品） PEFC認証材の場合は、原料の合法性担保の書類
	MDF	エコシート、または合法性・持続可能性が確認された木材（FSC認証材） フェノール樹脂及び低ホルムアルデヒド接着剤の使用
	合板・ベニアパネル	エコシート、または合法性・持続可能性が確認された木材（FSC認証材）
パーティション	石膏ボード	エコシート、またはダンボール、カーテン、フェンスなど
プラスチック	PVC	PVC不使用の非フタル酸樹脂、エコラップ、帆布、プラスチック、綿
	エポキシ樹脂	PLA、植物油、コーンスターチ等の植物由来樹脂
	ABS	PLA、植物油、コーンスターチ等の植物由来樹脂
	ポリカーボネイト	リサイクル/コンポスト可能な梱包にする 薄肉化、減量化
	ポリスチレン	バイオプラスチックや農業系樹脂
	ラテックス	バイオプラスチックや農業系樹脂
難燃剤	臭素系難燃剤、重金属含有難燃剤	ポリウレタンフォーム
コーティング剤	ホルムアルデヒド	コーティングしていない木材、金属、紙、板
	ペルクロロエチレン、キシレン、ヒ素	2010年EU規制（2004/42/CE）のVOCレベル遵守
冷暖房空調設備	HFC	アンモニア（大規模な場合）や、炭素（中規模・小規模な場合）の使用 断熱材は、ロックウール、グラスファイバー、コルクボード、再生繊維等
紙、板紙	塩素漂白	無塩素漂白
電子電気機器	EUエネルギーレベルB以下の製品	EUエネルギーレベルA、A+、A++の電気製品、PCはエネスタ
自動車、機械	自動車	電気自動車、バイオ燃料
発電機	発電機	バイオガス発電機